

《編集後記》

原稿不足は、編集担当者の慢性的な悩みです。今回も投稿が少なく気をもんでいたところ、締切後にいくつかの原稿が届きました。大急ぎで編集作業を行い、なんとか18号を予定どおり発行することができました。中身を見ると、永幡嘉之氏と高橋寿郎氏のページが大半を占めています。普段から目的意識をもって動いている人は、やはり強いのです。執筆者のうち、但馬在住者は上田尚志氏ひとりだけ。“但馬むしの会”の現状を如実に物語っているようです。但馬で生まれた昆虫同好会なのに、寂しいかぎりです。「地元会員よ、奮起せよ！」

編集作業は、原稿整理と校正を谷角、ワープロ入力と訂正を石田、という形でほぼ役割分担しています。このコンピで何度かやりとりを行い、最終版下を作成、そしてIRATSUMEが完成するのです。ここで、我々からのお願い。ワープロ原稿が増え編集が楽になったとはいうものの、処理しづらい原稿は相変わらず存在します。そこで、1. 投稿規定をよく読み、それに従って原稿を作成してください。データや参考文献の表記法、コンマやピリオドを使用することなどに注意してください。2. データ（地名・日付など）や文献などの引用は、確認してから正確に行ってください。編集サイドでもチェックしていますが、調べようのないものもあります。データが誤った形で発表されると、後に混乱を残します。3. ワープロやパソコンで原稿を作成される方は、機種名をお知らせください。

IRATSUME No.18

1994年5月20日発行

発行者：但馬むしの会

〒669-68 兵庫県美方郡温泉町

黒井和之方

編集者：谷角素彦・石田達也
